

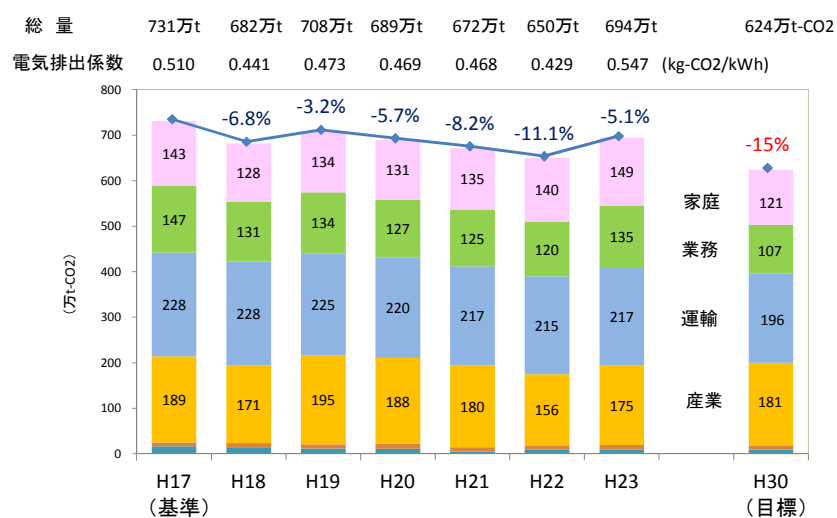
# 新潟市の環境の状況について

平成27年3月30日  
新潟市環境審議会

1

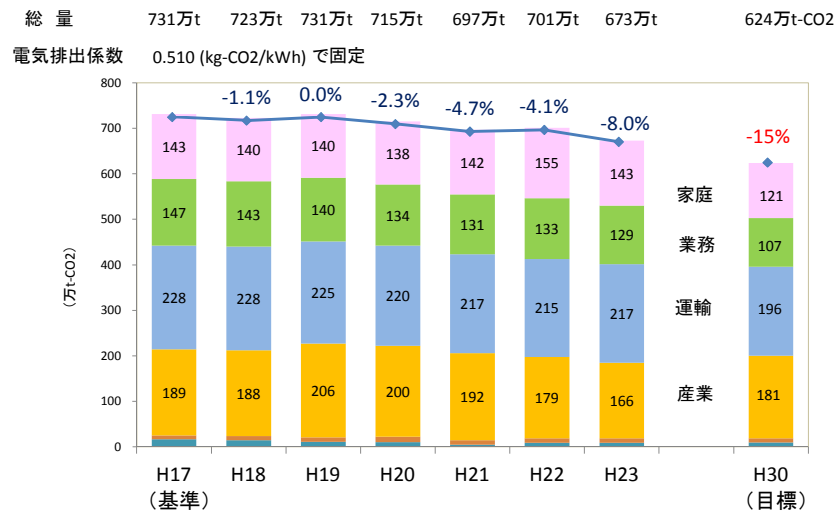
## 地球温暖化対策について【環境企画係】

### 市域の二酸化炭素排出量（電気の排出係数変動）



2

## 市域の二酸化炭素排出量（電気の排出係数固定）



## 平成27年度 新規事業

### にいがた未来ポイント事業

事業目的：環境保全・健康づくりに資する市民の自主的な行動にインセンティブを付与することで更なる取り組み推進を図り、にいがた未来ビジョンに掲げる環境健康都市の実現を目指す。

事業スキーム【案】

◆エネルギー使用量の報告(夏・冬各3か月)

◆マイボトルの利用

◆健康づくり・エコ活動への参加

◆エネルギー使用量のWeb報告

予算：9,010千円



抽選の実施  
景品：地産地消品、商品券など



ポイントの交換（1000P～）  
区役所等で交換票をプリント



交換票でいずれかに交換  
①新潟市共通商品券  
②りゅーと乗車ポイント

4

# 新潟市の鳥「ハクチョウ」の制定について【自然保護係】

## 1 制定の概要

### ○ 目的

新潟市が広域合併をしてから10周年を迎えたことを記念し、市民が本市の自然に想いを巡らせ、郷土愛を育むことができるシンボルとして、「市の鳥」を制定。

### ○ 新潟市の鳥 ハクチョウ

### ○ 制定日 平成26年10月16日

### ○ 選考方法

#### ・新潟市の鳥制定検討委員会の開催(計3回)

・鳥類の専門家で構成し、選考方法やスケジュールなどを決定



#### ・新潟市の鳥総選挙の実施(市民投票)

・期間：平成26年8月18日～9月17日

・方法：区役所など市内44カ所に投票箱設置の他、郵便、メール、FAX等で投票

・対象：本市で確認されたことがあるすべての野鳥283種

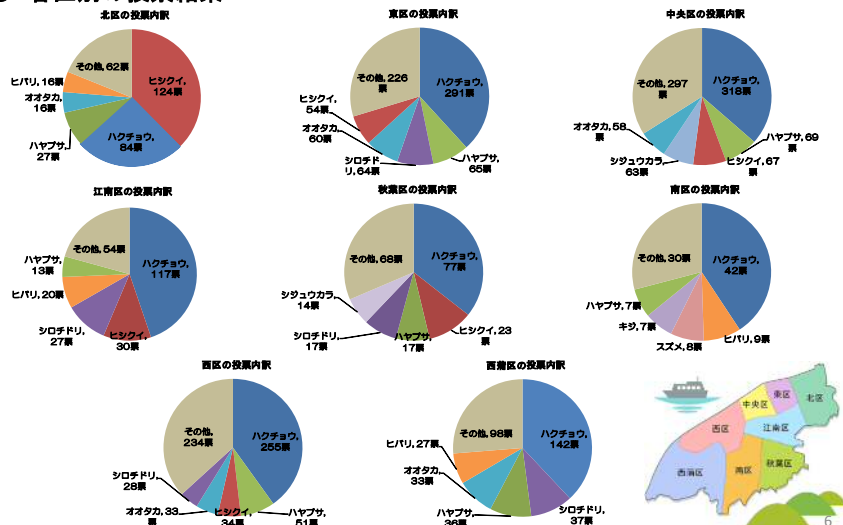
5

## 2 投票の結果

### ○ 総得票数 3, 549票

### ○ 1位 ハクチョウ 1, 326票 2位 ヒシクイ 354票 3位 ハヤブサ285票

### ○ 各区別の投票結果



6

### 3 決定理由

#### ○ 投票理由や検討委員会での意見

- ・ 美しく、親しみがあり、ビックスワン、アルビレックスなど既に本市の象徴である
- ・ コハクチョウの越冬数が日本で、市内各地で観察できる
- ・ 冬の風物詩になっている
- ・ 里潟や河川など本市の自然環境を象徴する



#### ○ 田園型政令市を標榜する本市の鳥にふさわしい



### 4 活用方法

#### ○ 環境教育の場での活用

- ・ 小・中学校の環境副読本で本市の自然環境の素晴らしさを伝える。

#### ○ 環境モデル都市として市内外への周知

- ・ ハクチョウがいる豊かな田園環境の魅力を発信し、本市への来訪者の増加にもつなげる。



7

### 5 市民ハクチョウフェスタの開催

#### ○ 目的 新潟市の鳥「ハクチョウ」を身近に感じられる本市の田園環境の魅力を広く市民にPRする。

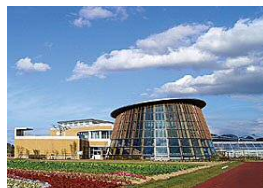
#### ○ 開催日 平成27年10月頃

#### ○ 会場 いくとびあ食花（予定）

#### ○ 予算 2,500千円

#### ○ 主なイベント内容(案)

- (1)講演会・対談
- (2)事例報告、パネルディスカッション
- (3)ハクチョウ関連の自治体紹介
- (4)地元食材軽食コーナー
- (5)親子自然体験コーナー
- (6)鳥屋野潟観察会
- (7)ハクチョウ生活史紹介
- (8)全日本白鳥写真コンテスト
- (9)ハクチョウ鳥風実演
- (10)スタンプラリー



8

## 田園資源活用推進事業について【スマートエネルギー推進室】

### 1 概要

地産地消エネルギーである「田園資源（バイオマス）」の活用を拡大し、農業の1 2次産業化や持続可能な低炭素型まちづくりを推進するため、本市の田園資源活用施策の基本となる「田園資源活用計画」を策定する。

また、本市で今後活用を進めるべき田園資源として「もみ殻」への期待が大きいことから、農家を対象とした「もみ殻燃料モニター調査」を実施し、ビニールハウスの暖房用燃料としての課題抽出・評価を行い、今後の本格活用につなげていく。

□予算

5, 000千円



9

### 2 事業内容

#### 1 田園資源活用計画の策定

【策定方法】 外部有識者による検討委員会による検討

【委員構成】 学識経験者、農協、農家等

【開催予定】 平成26年度1回（3月）、平成27年度5回程度

【策定時期】 平成27年10月頃

#### 2 もみ殻燃料モニター調査

【目的】 もみ殻燃料のビニールハウス暖房燃料としての適性評価を行う

【対象】 花卉栽培農家、いちご栽培農家など

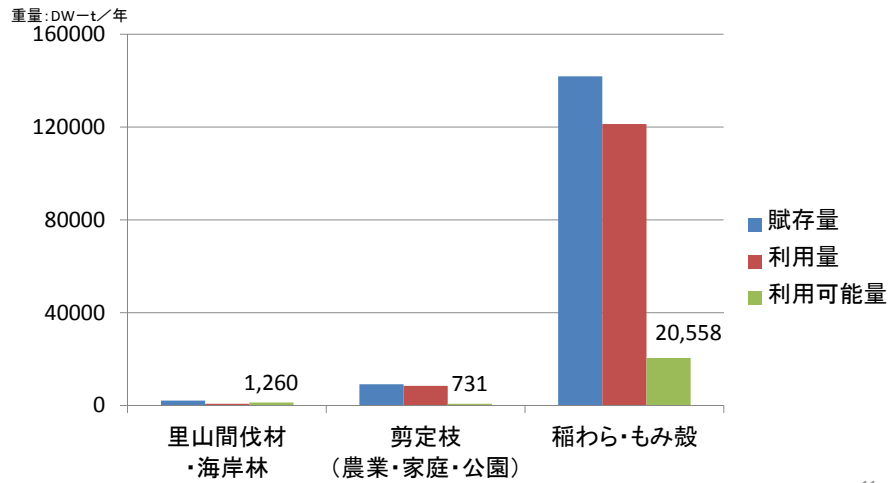
【燃料】 もみ殻（ペレットor 無加工）

【調査内容】 燃費（コスト）、利便性（労力）、灰処理等についてデータの収集

10

### 3 背景

- 環境モデル都市(H24), バイオマス産業都市(H25), 国家戦略特区(H26)の指定
- 田園資源をフル活用した農業の12次産業化を推進
- もみがら活用先の減少(野焼きの禁止, 畜産農家の廃業, 土地改良事業の減少等)



### 4 想定される活用イメージ



- もみ殻について, 特に検討が必要と思われる課題
- ・大量に発生する焼却灰の処理(活用)
  - ・ペレット化or無加工での利用

## 生活環境の状況について【環境対策課】

### 大気環境の体系

平成26年度

大気調査項目	調 査 地 点
環境大気常時監視	・ 一般環境大気測定局 9 地点 ・ 自動車排出ガス測定局 3 地点
移動局自動車排ガス影響調査	・ 沿道地域（道路に面する地域） 1 地点
有害大気汚染物質調査	・ 一般環境大気測定局 1 地点 ・ 一般環境大気測定局（発生源周辺） 2 地点 ・ 自動車排出ガス測定局 1 地点
アスベスト調査	・ 一般環境大気測定局 6 地点 ・ 自動車排出ガス測定局 2 地点 （各区1地点、計8地点で実施）
酸性雨調査	・ 一般環境大気測定局及び一般環境地域（道路に面する地域以外の地域） 2 地点

13

### 大気常時監視測定結果(速報)平成27年2月28日現在

		二酸化硫黄		二酸化窒素	オキシダント	浮遊粒子状物質		微小粒子状物質	一酸化炭素	
		長期的評価	短期的評価	長期的評価	短期的評価	長期的評価	短期的評価		長期的評価	短期的評価
一般環境大気測定局	豊 栄	—	—	○	×	—	—	—	—	—
	太 郎 代	○	○	○	×	○	○	○	—	—
	松 浜	○	○	○	×	○	○	—	—	—
	大 山	○	○	○	×	○	○	○	—	—
	山 木 戸	○	○	○	×	○	○	—	—	—
	亀 田	—	—	○	×	○	○	○	—	—
	新 津	—	—	○	×	—	—	—	—	—
	坂 井 輪 巻	—	—	○	×	—	—	○	—	—
ガス自動車排出測定局	東山の下	—	—	○	—	○	○	○	○	○
	市 役 所	—	—	○	×	—	—	H26/11/1から測定開始	—	—
	白 根	—	—	○	×	○	○	○	○	○

14

## 有害大気汚染物質調査結果(速報値)

平成27年2月28日現在

	物質名	松浜局 (発生源周辺)	大山局 (一般環境)	長嶺局 (沿道)	新津局 (発生源周辺)	環境基準	指針値
環境基準設定物質	ベンゼン	○(0.55)	○(0.53)	○(0.56)	—	3 μg/m³	—
	トリクロロエチレン	○(0.24)	○(0.27)	—	—	200 μg/m³	—
	テトラクロロエチレン	○(0.15)	○(0.085)	—	—	200 μg/m³	—
	ジクロロメタン	○(0.74)	○(1.0)	—	—	150 μg/m³	—
指定地設定物質	アクリロニトリル	○(0.015)	○(0.029)	—	—	—	2 μg/m³
	塩化ビニルモノマー	○(0.011)	○(0.017)	—	—	—	10 μg/m³
	クロロホルム	○(0.14)	○(0.15)	—	—	—	18 μg/m³
	1,2-ジクロロエタン	○(0.25)	○(0.13)	—	—	—	1.6 μg/m³
	水銀及びその化合物	○(1.6)	○(1.7)	—	—	—	40 ngHg/m³
	ニッケル化合物	○(3.1)	○(3.0)	—	○(2.7)	—	25 ngNi/m³
	1,3-ブタジエン	○(0.033)	○(0.029)	○(0.049)	—	—	2.5 μg/m³
	ヒ素及びその化合物	○(1.1)	○(1.5)	—	—	—	6.0ng/m³

15

## アスベスト一般環境測定結果

単位:本/L(総繊維数濃度)

番号	区	測定場所	測定結果			全国結果 (H25年度)
			H26年度	H25年度	H24年度	
1	北区	豊栄局	0.56～(1.1)	0.13～(1.63)	0.85～0.93	0.04 ～ 4.4
2	東区	大山局	0.56～0.67	0.14～(1.71)	0.34～0.62	
3	中央区	市役所局	0.52～0.82	0.15～(1.33)	0.28～0.59	
4	江南区	亀田局	0.64～0.73	0.20～(1.04)	0.22～0.96	
5	秋葉区	新津局	0.28～0.64	0.21～0.59	0.28～0.51	
6	南区	白根局	0.44～0.65	0.45～0.74	0.28～0.53	
7	西区	坂井輪局	0.12～0.52	0.25～0.73	0.17～0.85	
8	西蒲区	巻局	0.15～0.76	0.37～0.64	0.22～0.51	
結果の範囲			0.12～(1.1)	0.13～(1.71)	0.17～0.96	

()については電子顕微鏡による分析の結果、アスベスト繊維数は検出下限値(0.13)未満である

16



#### 4 PM2.5の測定結果(速報値)

平成27年2月28日現在

	1年平均値※	1日平均値が 35 $\mu$ g/m <sup>3</sup> を超 えた日数	1時間値の 最高値	1日平均 値の最高 値	1日平均値※ の98%値
太郎代	12.0	5日	62	45.5	33.0
大山	11.5	4日	69	50.1	33.1
亀田	12.5	6日	62	53.3	33.0
坂井輪	10.5	2日	67	42.4	29.3
東山の下	12.2	6日	61	48.0	32.5
白根	12.3	5日	64	49.5	32.8
(市役所)	(9.6)	(0日)	(47)	(34.3)	(25.4)

※環境基準と比較する値

市役所は、有効日数が250日未満のため参考値(平成27年11月1日より測定)

17

#### 水環境調査の体系

平成26年度

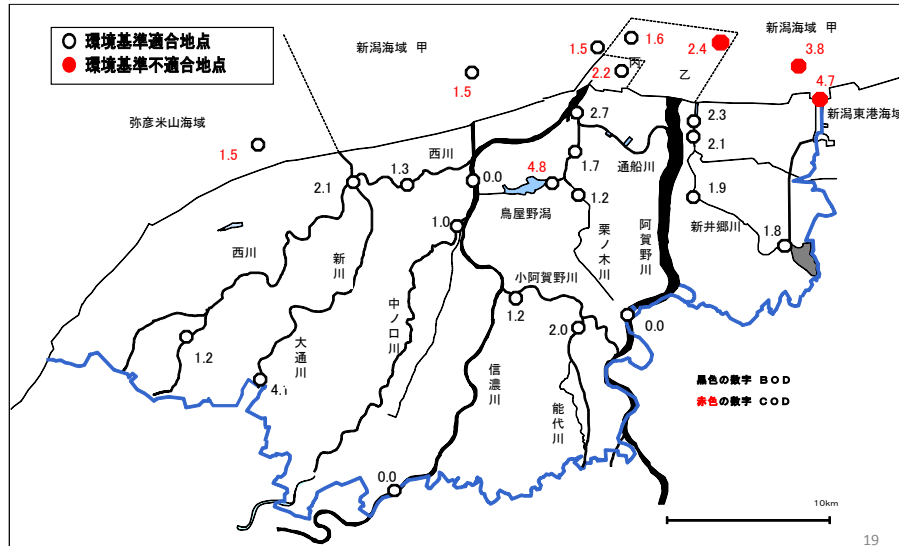
調査実施主体	調査地点	
	河川、湖沼及び海域	
新潟市	33 地点	
	信濃川水域	17 地点
	阿賀野川水域の福島潟	1 地点
	新井郷川	4 地点
	鳥屋野潟	2 地点
	新潟海域甲乙丙	6 地点
	弥彦・米山地先海域	3 地点
国土交通省 北陸地方整備局	7 地点	
	信濃川	4 地点
	阿賀野川	2 地点
	関屋分水路	1 地点
新潟県	3 地点	
	新潟海域甲	1 地点
	新潟海域東港	2 地点

18

## 公共用水域の水質BOD/COD適合状況(環境基準点)

● 新潟海域(甲, 乙, 東港)でCOD基準超過

平成26年度



## 公共用水域の水質BOD/COD適合状況(その1)

平成26年度

水域名 (河川名等)		調査地点	類型	基準値(75%)		環境 基準点	測定結果 75%値	環境基準 達成状況	
				BOD	COD				
信濃川	信濃川	中流	①庄瀬橋(※)	河川A	2mg/L以下	—	(※)	—	○
		下流	②平成大橋(※)	河川A	2mg/L以下	—	(※)	—	○
			③萬代橋				—		
			④信濃川河口				—		
	⑤結地先(※)		河川B				3mg/L以下	—	
	小阿賀野川	⑥新瀬橋(※)	河川A	2mg/L以下	—	(※)	1.2	○	
	中ノ口川	⑦両郡橋	河川A	2mg/L以下	—	—	1.0	○	
		⑧西信濃川大橋(※)				(※)	1.0		
	西川	上流	⑨西川橋(※)	河川A	2mg/L以下	—	(※)	1.2	○
		下流	⑩亀貝橋(※)	河川B	3mg/L以下	—	(※)	1.3	○
			⑪波切橋				1.7		
	通船川		⑫木戸開門	河川D	8mg/L以下	—	—	1.0	○
			⑬開門東				4.6		
			⑭山ノ下橋(※)				(※)	2.7	
	栗ノ木川	上流	⑮二本木地先	河川C	5mg/L以下	—	—	2.0	○
			⑯石山橋(※)				(※)	1.2	
		⑰両新橋(※)	河川E	10mg/L以下	—	—	1.7	○	
		⑱開門西				4.6			
関屋分水路		⑲堀割橋	—	—	—	—	—	20	

## 公共用水域の水質BOD/COD適合状況(その2)

平成26年度

水域名 (河川名等)		調査地点	類型	基準値(75%)		環境 基準点	測定結果 75%値	環境基準 達成状況
				BOD	COD			
阿賀野川	阿賀野川	②横雲橋(※) ②松浜橋	河川A	2mg/L以下	—	(※)	—	○
	福島潟	②潟口橋(※)	河川B	3mg/L以下	—	(※)	1.8	○
	新井郷川	上流 ②豊新橋(※)	河川B	3mg/L以下	—	(※)	1.9	○
		中流 ②名目新橋上流(※)	河川B	3mg/L以下	—	(※)	2.1	○
		下流 ②大正橋(※) ②新井郷川河口	河川C	5mg/L以下	—	(※)	2.3 3.7	○
新川	大通川	②大通橋(※)	河川C	5mg/L以下	—	(※)	4.1	○
	新川	②横尾大橋(※) ②往來橋	河川C	5mg/L以下	—	(※)	2.1 1.9	○
湖沼	鳥屋野潟	②弁天橋(※) ②鳥屋野潟出口	湖沼B	—	5mg/L以下	(※)	4.8 8.5	○
海域	新潟海域	甲 ③新潟海域甲No. 1(※) ③新潟海域甲No. 3(※) ③新潟海域甲No. 10 ③新潟海域甲No. 11(※)	海域A	—	2mg/L以下	(※)	1.5 1.5 2.5 3.8	×
		乙 ③新潟海域乙No. 4(※) ③新潟海域乙No. 6(※)	海域A	—	2mg/L以下	(※)	1.6 2.4	×
		丙 ③新潟海域丙No. 7(※)	海域B	—	3mg/L以下	(※)	2.2	○
	新潟海域東港	③新潟海域東港No. 12(※) ③新潟海域東港No. 16	海域B	—	3mg/L以下	(※)	4.7 5.0	×
	弥彦・米山地先海域	③新潟海域No. 1(※) ③新潟海域No. 2(※)	海域A	—	2mg/L以下	(※)	1.6 1.5	○ <sub>21</sub>
		③新潟海域No. 3(※)	海域A	—	2mg/L以下	(※)	1.5	○ <sub>21</sub>
	新潟県内河川	③新潟県内河川No. 1(※) ③新潟県内河川No. 2(※)	河川A	—	2mg/L以下	(※)	1.6 1.5	○ <sub>21</sub>

## 環境放射能(その1)

● 空間放射線量率は通常の測定範囲内

平成26年度

調査項目	調査地点及び調査結果	
	調査地点	調査結果
空間放射線量率	中央区(自動測定) 1 地点 区役所(月2回) 8 地点 小学校(4校), 中学校(4校) 8 地点 海水浴場 4 地点 計 21 地点	地上1mの高さにおける放射線量率 0.050 ~ 0.12 μSv/h (参考) ※通常の測定範囲 0.016 ~ 0.16 μSv/h程度
ポケット線量計 による 積算放射線量	区役所 8 地点	積算放射線量 0.464 ~ 0.658 mSv/9ヵ月 (年換算 0.605~0.858 mSv/年) 平均積算放射線量率 1.66 ~ 2.35 μSv/日 (0.071 ~ 0.098 μSv/h)

## 環境放射能(その2)

### ● 河川底質・降下物でセシウム検出

平成26年度

調査項目	調査地点及び調査結果	
	調査地点	調査結果
河川底質	河川 9 地点 (能代川, 小阿賀野川, 中ノ口川, 栗ノ木川, 通船川, 西川, 新川, 新井郷川, 鳥屋野潟)	ヨウ素 131 検出しない セシウム134 検出しない~ 37 Bq/kg セシウム137 検出しない~110 Bq/kg (通船川, 小阿賀野川で検出)
降下物	白山浦庁舎屋上 1地点	(各月の結果) ヨウ素 131 検出しない セシウム134 検出しない セシウム137 検出しない~0.12 Bq/m <sup>2</sup> (H26.8月が最大)
河川水・海水 地下水 土壌 大気浮遊じん 指標生物	河川, 海域, 海水浴場 15地点 井戸 5地点 学校・区役所 16地点 白山浦庁舎屋上 1地点 西区(赤塚, 五十嵐) 2地点	ヨウ素131, セシウム134, 137 検出しない

23

## 騒音・振動調査の体系

平成26年度

調査項目	調査地点
一般地域における騒音 道路に面する地域における騒音	(1) 一般地域(道路に面する地域以外の地域) 調査地点: A類型 10地点 B類型 12地点 C類型 10地点  (注)1 Aを当てはめる地域は, 専ら住居の用に供される地域とする。 2 Bを当てはめる地域は, 主として住居の用に供される地域とする。 3 Cを当てはめる地域は, 相当数の住居と併せて商業, 工業等の用に供される地域とする。  (2) 道路に面する地域 調査地点: 高速自動車道 3地点 一般国道 28地点
新幹線鉄道騒音・振動	調査地点: 沿線地域 6地点
航空機騒音	調査地点: 船江地区 8地点 松浜地区 7地点

24

## 環境基準の達成状況(道路に面する地域)

### 平成25年度環境基準の達成率・戸数

区分	昼夜とも 基準値以下		昼のみ 基準値以下		夜のみ 基準値以下		昼夜とも 基準値超過	
	戸数	割合 (%)	戸数	割合 (%)	戸数	割合 (%)	戸数	割合 (%)
全戸数 (51,138戸)	50,564	98.9	107	0.2	239	0.5	228	0.4
近接空間 (19,786戸)	20,582	98.1	45	0.2	164	0.8	164	0.8
非近接空間 (31,352戸)	31,151	99.4	62	0.2	75	0.2	64	0.2

25

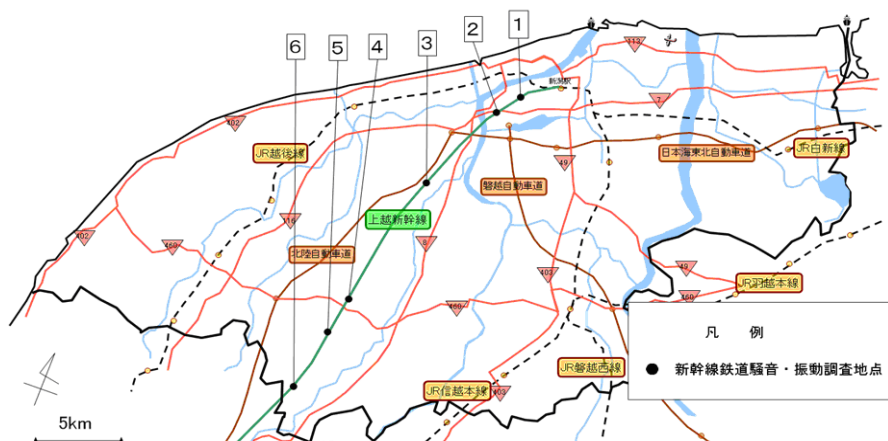
## 高速道路騒音調査

平成26年度

高速道路名	測定値 (デシベル)		環境基準 (デシベル)		環境基準の 達成状況
	昼間	夜間	昼間	夜間	
日本海東北自動車道 (北区葛塚)	55	49	70	65	達成
北陸自動車道 (西蒲区国見)	58	53	65	60	達成
磐越自動車道 (江南区酒屋町)	57	55	65	60	達成

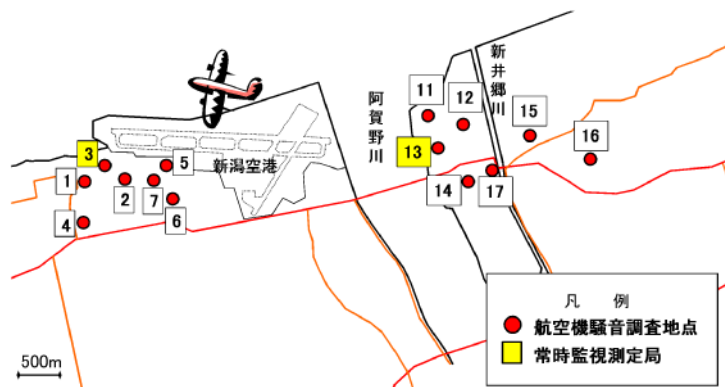
26

### 新幹線鉄道騒音調査地点(平成26年度)



調査地点 (新潟駅から)	1上近江 (3km)	2大島 (5km)	3鳥原 (9km)	4井随 (19km)	5釣寄 (22km)	6中之口 (25km)	環境基準
環境基準 達成状況	74 未達成	74 未達成	74 未達成	72 未達成	72 未達成	74 未達成	70デシベル (I 類型)

### 航空機騒音調査地点



### 短期調査(平成25年度)

(I 類型:Lden57dB 以下, II 類型:Lden62dB以下)

調査地点	船江地区							松浜地区						
	No1	No2	No3	No4	No5	No6	No7	No11	No12	No13	No14	No15	No16	No17
地域類型	II	II	II	II	II	II	II	I	I	I	I	II	II	I
環境基準 達成状況	50 達成	51 達成	54 達成	45 達成	56 達成	50 達成	52 達成	47 達成	51 達成	58 未達成	47 達成	54 達成	52 達成	52 達成